

Lite TEの機能とライセンス

ZebraのMC2xデバイスファミリーには、機能セットが簡素化されたLite TE (ターミナルエミュレーション) 用のオプションがあります。これは、倉庫と流通センターの機能に的を絞った、エンタープライズアプリケーションにアクセスできる、Zebra独自のデバイスです。

Google PlayストアまたはIvantiダウンロードサイトからダウンロード可能なVelocityコンソールと標準Velocityクライアントを使用し、オールタッチTEと同様にセッション情報を設定します。Lite TEはシングルグリーンスクリーンのみのセッションなど、さまざまな機能に対応しますが、設定にサポート対象外の機能 (スクリプトなど) が含まれている場合、Lite TEライセンスのクライアントは、サポート対象外の機能を使用しません。

Lite TEの機能サポートは次のとおりです。

ネイティブモード

Lite TEセッションはネイティブモードで動作し、グリーンスクリーンインターフェースを使用します。最新のスクリーン変更には対応しません。

アクティブなスクリーンは1つ

タイプ (5250、3270、VTXX0) に関係なく、サポートされるTEセッションは1つだけです。複数の同時セッションとWebセッションには対応しません。

入力とフィールド終了キーの切り替え

Verocityコンソールのオプションで対応します。

スクリプトと音声サポート

高度な構成、スクリプト、または音声自動化のサポートはありません。

キーボード

デフォルトのキーボードは利用できますが、カスタムキーボードには対応しません。

スキャンハンドラー

Zebra DataWedgeでスキャンを設定します。クライアントのスキャンハンドラーには対応しません。

キーマクロ

キーマクロまたはプロセス自動化には対応しません。

オールタッチTEに関するデバイスサポート

Lite TEのライセンスを使用できるデバイスは、MC2xデバイスのみですが、必要に応じて、フル装備のオールタッチTEライセンスをデバイスで使用できます。必要な機能が得られるライセンスタイプをご利用ください。

ターミナルエミュレーションからの移行

Lite TEのユーザーはrapid.ivanti.comを使用して、手早く構成を作成したり、既存の.wltnaファイルから移行したりできます。ただし、Lite TEで対応していないオプションは機能しません。

ライセンス混在環境

ライセンスは標準ライセンスサーバーを使用して配布されます。デバイスがLite TEライセンスを使用しているか確認するには、クライアントで[Menu (メニュー)]、[About (概要)]の順に選択してください。Lite TEライセンスの表示は「Velocity Android 2.0 Limited」になります。

ライセンスサーバーでフルライセンスとLite TEライセンスの両方に対応する環境を設定している場合は、ライセンスごとに異なるサイトIDを使用してください。最初に、2つ以上のサイトIDを指定してライセンスサーバーを設定します。次に、一方のサイトIDを使用してLite TEライセンスを追加し、他のライセンスでは異なるサイトIDを使用するように区別します。最後に、ライセンスサーバーにアクセスするときには、Lite TEのサイトIDを使用するようにMC2xデバイスを設定します。(ライセンスサーバーに両タイプのライセンスを提供させる場合は、サーバーサイトIDのプロパティを変更しないでください。) ライセンスサーバー設定の詳細については、help.ivanti.comでライセンスサーバーのリファレンスガイドをご覧ください。

サイトIDを使用しない場合、クライアントはフルライセンスを優先し、フルライセンスが利用できない場合に限り、Lite TEライセンスが使用されます。

詳細については、zebra.comをご覧ください。



ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-5-2 内幸町平和ビル14F
TEL 0066-33-821700 (フリーダイヤル) FAX 03-3580-8301

Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd.

182 Cecil St. #08-01 Fraser Tower, Singapore 069547
TEL +65-6858-0722 FAX +65-6885-0838